



超音波洗浄機

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
この度、弊社製品をお買い上げ頂き
まして誠にありがとうございます。
製品に対して何か問題や不明点があ
りましたら、いつでもお気軽に弊社
にご相談ください。より良いサービ
スをお提供させていただけるよう
所懸命頑張ります。
本製品をより安全に、また良好な状
態でご使用頂くために『取扱説明書』
をお読みになって、正しくお使いい
ください。



目次

ご使用のまえに

保証カード
安全上のお願い
使用上のお願い
洗浄物について
各部のなまえ

使いましょう

使いかた
メガネの洗浄
時計の金属バンドの洗浄
入れ歯の洗浄
貴金属(アクセサリ)の洗浄
シェーバーの刃の洗浄

お知らせ

お手入れ
汚れが落ちるしくみ
故障かな?と思ったら
製品仕様



保証カード

当店の超音波洗浄機をご利用いただき誠にありがとうございます。

■不良品が届いた場合は

出荷の前に検品が行われていますが、配達時に製品は不具合などがありましたら、お手数ではございますが、不具合の状況について弊社のアフターサービスメールとご連絡いただき、対応させていただきます。

■製品に関しましても、破損や不具合などが見受けられるようでしたら返品、交換の対応をさせていただきますのでご連絡ください。

■ほかに気になる点などございましたら、お手数ではございますが是非ご意見をいただけますと幸いです。

■保証期間

製品の保証期間はご購入日から1年間です。

■保証期間中は

一年の間、製品が故障になった場合、弊社と連絡して、返品や新品交換などを相談していただけるようにお願いします。

■保証期間過ぎているときは

有料で交換、修理させていただきます。

■連絡先:

▶Eメール: zhanhuajp@outlook.com

▶Eメール: LifeBasisso@outlook.com

購入者たちからのお問い合わせメールが多いので、ご相談のメールに商品名、注文番号、購入日、故障状況などが記入して頂ければ、助かります。

故障かな?と思ったら

こんなとき	確認するところ	対処
ON/OFFスイッチを押しても動作しない	洗浄槽に水を入れたかどうか確認する	水がないと起動させられない。先ず水を入れてください。
	ON/OFFスイッチを指でタッチして(押して)、スイッチのランプが点灯している	故障です。弊社と連絡して、お問い合わせいただくようお願いいたします。
	タイマーやON/OFFスイッチを指でタッチしても、スイッチのランプが点灯しない	電源コードまたは本体のコネクターに水がついた可能性があります。電源コードを外して、水気を拭き取ってよく乾かしてから電源コードを取り付けください。

よくある質問

Q:皮脂が落ちない。

A:超音波は微塵など粉状の汚れがよく取れます。油汚れなどは水だけでとれないので、洗浄槽に食器洗用洗剤なども入れたほうがいいです。

Q:防水の腕時計を丸洗いしても問題はないでしょうか?

A:超音波の力で水が時計内部に入り、部品を変形させる恐れがあります。防水の腕時計でも丸洗いしないでください。不当な使用による故障は保証対象外です。

Q:水を捨てる頻度はどのぐらいですか?

A:水の中に埃、砂利がある場合は、レンズにキズを付けることがあるので、メガネを洗う際には、毎回水を取替え、新しい水を入れてください。指輪、ネックレスなどのアクセサリ、腕時計を洗う場合は、水が濁ったら、変えてください。

製品仕様

販売名	超音波洗浄器 CDS-100
定格電圧	AC100V
電源コードの長さ	約1.5m
定格周波数	50/60Hz
消費電力	30W
超音波周波数	42kHz
洗浄槽材質	ステンレス(SUS304)
製品寸法	約幅204×高さ140×奥行130mm
製品質量	約980g
洗浄槽内形寸法	約幅161×高さ85×奥行50mm
タイマー	5段階(90,180,300,480,600秒)
付属品	フタ、洗浄カゴ、時計ホルダー、電源コード、取扱説明書

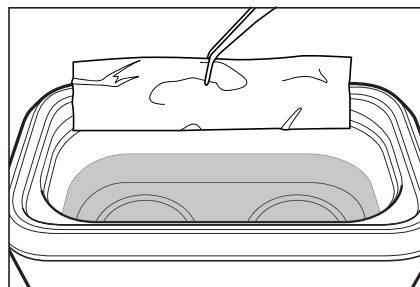
キャビテーション効果の実験

安全上のお願い

キャビテーション効果の実験

1. 水をコップ等を使用して洗浄槽の上限 (MAX)基準線まで入れてください。
2. ご家庭にあるアルミホイルを約15×4cmに切り取ってください。
3. アルミホイルをゆっくり水の中に沈めてください。
4. 器具用プラグと電源プラグを差し込みます。

実験前

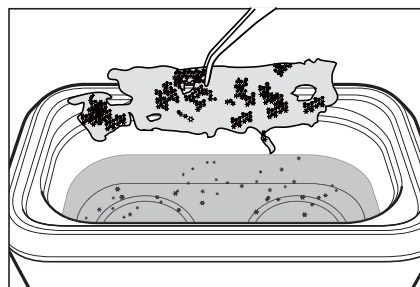


- TIMER
5. をタッチして洗浄時間を300秒 (5分) に設定します。

- ON/OFF
6. をタッチして実験を開始します。

7. アルミホイルを取出します。アルミホイルに無数の穴が開き、超音波洗浄の威力を確認できます。

実験後



※図はイメージです。

ご使用前に、この「安全上のお願い」をよくお読みください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

注意 人が傷害を負ったり、物的損害*の発生する可能性が想定される場合

* 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

警告

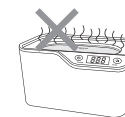
強制 お子様や意思表示が困難な方に使わせたり、乳幼児の手が届くところで使用しないでください。
→ヤケド、感電、けがの原因になります。



強制 ペースメーカーなど体内に機器を装着されている方は、本製品をご使用にならないでください。
→体調不良をおこす恐れがあります。



強制 洗浄槽に必ず水を入れてからご使用ください。
→過熱によるヤケドや故障の原因になります。



強制 発火性、引火性のある液体を使用しないでください。
→火災の原因になります。



強制 連続して使用しないでください。
→過熱によるヤケドや故障の原因になります。
※連続使用した場合、過熱防止の保護回路が働き停止することがありますが、その場合は電源プラグをコンセントから抜いて、10分以上休止し、冷えてから使用してください。



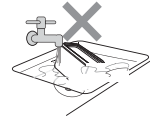
ご使用のまえに

お知らせ

警告



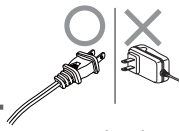
強制 本体および洗浄槽を丸洗いしないでください。
→底をぬらしたり、逆さにすると内部に水が入り、感電や火災、故障の原因になります。



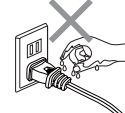
強制 洗面所など水がかかる場所では使用しないでください。
→感電や火災、故障の原因になります。



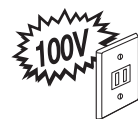
強制 専用の電源コード以外は、使用しないでください。
→火災、感電の原因になります。



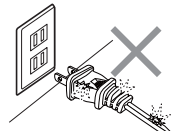
強制 電源コードは、ぬれた手でコンセントから抜き差ししないでください。
→感電や火災、故障の原因になります。



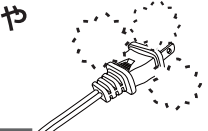
強制 交流100Vのコンセントを単独で使用してください。
→他の機械と併用すると、発熱する原因になります。



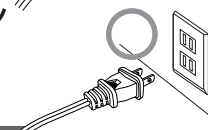
強制 傷んだ電源コードや電源プラグは使用しないでください。
→感電やショート、発火の原因になります。



強制 電源コードの電源プラグや器具用プラグにゴミやホコリを付着させないでください。
→火災、感電の原因になります。



強制 ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
→感電や火災、故障の原因になります。



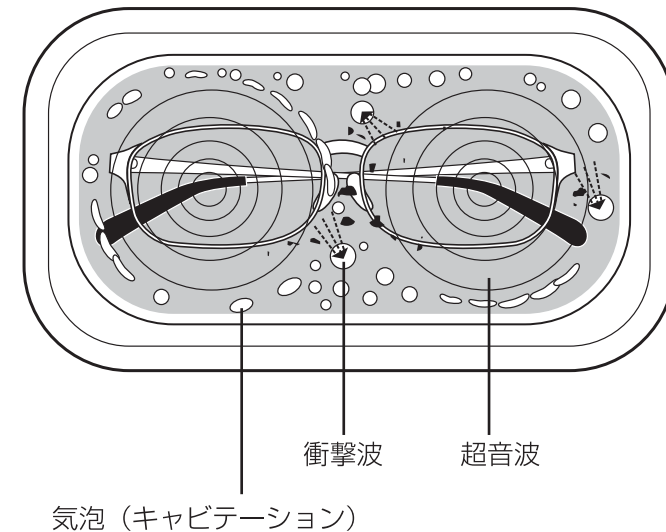
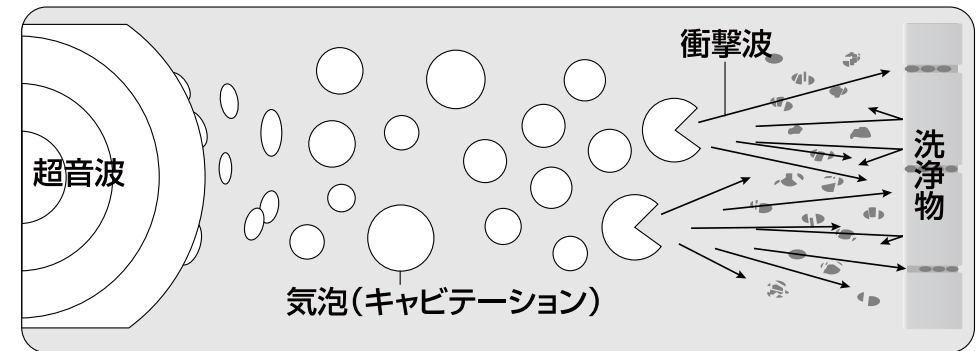
強制 分解や修理・改造をしないでください。
→感電や火災、故障の原因になります。



ご使用のまえに

超音波でミクロの汚れが落ちるしくみ

2つの振動子による超音波の振動で、水中に目に見えない気泡（キャビテーション）が無数に発生します。その気泡（キャビテーション）のはじける瞬間にでる衝撃波が、手のとどかない微細なすき間の汚れを粉砕して、布やブラシ、水流では落ちない汚れをスッキリ取り除きます。



お知らせ

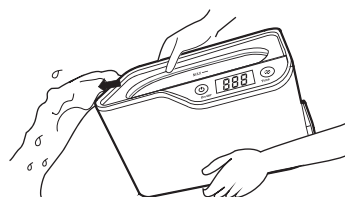
★洗いすぎには充分ご注意ください。

<洗浄槽の洗いかた>

- ① 器具用プラグと電源プラグを抜き、コネクターや表示部に水がかからないように、洗浄槽の水をすててください。
- ② 洗浄槽の半分位までコップなどできれいな水を入れてください。柔らかいスポンジなどで洗った後、すすぎ洗いしてください。[図2]
※ 汚れがひどい場合は中性洗剤を1、2滴たらして洗うと効果的です。
※ スポンジ等の表面が固いもので洗うと洗浄槽にキズがつくことがありますのでご注意ください。
- ③ 洗浄後は再度きれいな水でよくすすいでください。

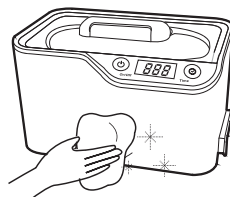
<注意> ※中性洗剤などをご利用された場合は洗剤が残らないように念入りにすすいでください。
※洗っている時に、コネクターに水がかからないように注意してください。

図1



※ 水は背面側のカドから排水してしてください。

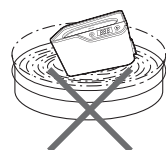
図2



<本体の掃除のしかた>

- ① 洗浄槽を洗い終わったら、水にひたした柔らかい布をよくしぼってよく拭いてください。
- ② 拭いた後、かわいた布でから拭きしてください。

⚠ 注意



★ 水につけて丸洗いしないでください。



★ 水道水を流しっぱなしで洗わないでください。

※本体の内部に水が入ると回路が不良となり感電や火災の原因になります。

⚠ 注 意



水道の蛇口から直接水を入れず、コップなどを使用して水を入れてください。
→本体やコネクター部分に水がかかると故障の原因になります。



洗浄水に消毒や滅菌などの薬品や、酸性の溶剤を使用しないでください。
→樹脂部分の変質やステンレス部分を傷めます。



真珠など表面硬度が比較的柔らかいもの(モース硬度8以下)は絶対に洗わないでください。
→欠けたり、変色したり光沢が失われたりします。



宝石のついたアクセサリーを長時間洗わないでください。
→宝石が指輪から外れることがあります。



ふち無しのレンズのメガネを長時間洗浄しないでください。
→レンズが欠けることがあります。



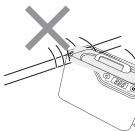
火気の近くや直接日光の当たるところに置かないでください。
→本体が変色、変形したり故障の原因になります。



テレビ、ラジオ、パソコンの近くや同じコンセントから使用しないでください。
→画像の乱れや雑音の原因になります。



落としたり、強い振動を加えないでください。
→破損や変形、故障の原因になります。



洗浄物について

シェーバーの刃の洗浄

ご使用のまえに

	洗浄できるもの	洗浄できないもの
種類	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貴金属 (アクセサリ類) ■ プラスチック類 ■ ガラス類 ■ 陶磁器類 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 表面硬度が柔らかい宝石類 ■ 接着、接合した宝石類 ■ キズやヒビ割れのあるもの ■ メッキや塗装加工が劣化しているもの
具体例	<ul style="list-style-type: none"> ● メガネ ● 入れ歯 ● 歯ブラシ ● くし ● 金属装身具 ● バリカン刃 ● 電気カミソリ刃 (内刃、外刃)* ● 腕時計の金属バンド ● 印鑑 ● ナイフ、フォーク ● 缶切り ● 万年筆のペン先 ● パイプ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ベっ甲、真珠、エメラルド、オパール、翡翠、珊瑚、象牙、コハク、石材など ● 腕時計本体 (防水型を含む) ● 上記宝石の付いたアクセサリメガネ ● コンタクトレンズ ● 印鑑 (木製) ● 偏光レンズ付サングラス

- 歯石、歯垢、黄ばみ、黒ずみ、たばこのヤニなどがついた入れ歯の汚れは洗浄しても落ちないことがあります。
- 入れ歯に固着した安定剤は洗浄しても落ちないことがあります。
- 金属や貴金属の変色、錆は洗浄しても落ちません。
- 樹脂製のメガネフレームを洗浄すると表面が白くなったりつやがなくなったりします。その場合は、乾いた布で強く拭いていただければ元にもどります。(ただし、キズ、ワレなどがある場合は元にもどらないことがあります)
- メガネのレンズがプラスチック製の場合、ヒビ、キズなどが入っていると洗浄後レンズが白くくもり、布で拭いても元にもどらないことがありますのでご注意ください。
- 劣化の進んだ (キズやはがれなどがある) ・メッキ及び塗装のしたあるメガネフレームなどは洗浄しないでください。メッキ・塗装がはがれる原因となります。

⚠️ ※ 過度の洗浄により刃こぼれすることがあります。充分ご注意ください。特に注意 ネット (外刃) は長時間洗浄しないでください。

洗浄時間のめやす

洗浄時間	洗浄できるもの
90秒以下	● 宝石 ● ふち無しガラスレンズのメガネ
90秒	● メガネ (ふち有り) ● 金属装身具
180秒	● 入れ歯 ● 歯ブラシ ● くし
300秒	● 万年筆のペン先 ● 電気カミソリ刃 (内刃、外刃)
480秒	● バリカン刃
600秒	● 腕時計の金属バンド
	● ナイフ ● フォーク ● 缶切り
	● 印鑑 ● パイプ

※ 上記は洗浄時間のめやすです。過度に洗浄すると、洗浄物が破損する場合がありますのでご注意ください。

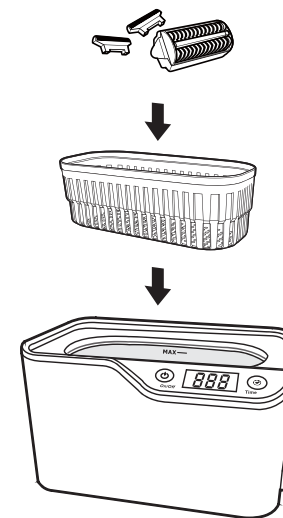
※ 万一、洗浄物に不具合が生じてもその責は負いかねます。

電気カミソリの刃とネット (外刃) の洗浄

- 電気カミソリの刃とネット (外刃) の破損を避けるため、1~2分の短時間洗浄をおすすめします。

1 洗浄槽で洗う

- 洗浄前に毛先の柔らかなブラシで軽くブラッシングしてください。
- シェーバーの刃を洗浄カゴに入れて、洗浄しますと、出し入れに便利です。
- シェーバーの刃が完全に水につかるように、洗浄槽にコップ等を使用して水を入れてください。
- ご家庭でご使用中の中性洗剤を1~2滴入れるとより効果的です。



2 器具用プラグと電源プラグを差し込みます

3 TIMER をタッチして洗浄時間を設定します

- 1分 (60秒) ~ 2分 (120秒) をめやすに設定してください。(4ページ)

⚠️ 注意 過度の洗浄により刃こぼれすることがあります。充分ご注意ください。特にネット (外刃) は長時間洗浄しないでください。

4 ON/OFF をタッチして洗浄を開始します

- 途中で洗浄を止める時は、再度 ON/OFF をタッチしてください。

5 洗浄が終わったら、シェーバーの刃を水ですすぎ洗いをしてください。

- 洗浄後は、水洗いした後十分に乾燥させてください。
- また、シェーバークリーナーなどで防錆処理をしてください。

使ったあとの

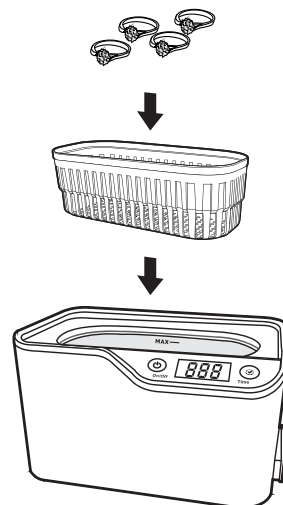
貴金属（アクセサリー）の洗浄

各部のなまえ

貴金属製アクセサリーなどの洗浄には、キズつき防止のため、また洗浄物の出し入れが簡単・便利な洗浄カゴをご使用ください。

1 洗浄槽で洗う

- 洗浄するものを洗浄カゴに入れ、その洗浄カゴを洗浄槽にセットしてください。
- 水を入れる時はコップ等を使用して洗浄槽の上限（MAX）基準線まで入れてください。
- ご家庭でご使用の中性洗剤を1～2滴入れるとより効果的です。



2 器具用プラグと電源プラグを差し込みます

3 TIMER をタッチして洗浄時間を設定します

- 宝石は30秒をめやすに取り出してください。
- 金属装身具は1分（60秒）～2分（120秒）をめやすに設定してください。（4ページ）

4 ON/OFF をタッチして洗浄を開始します

- 途中で洗浄を止める時は、再度 ON/OFF をタッチしてください。

5 洗浄が終わったら、アクセサリーを水ですすぎ洗いをしてください。

- 乾いた布等で水分をよくふき取ってください。

必ずもう一度確認してください。（洗浄できないものの例）

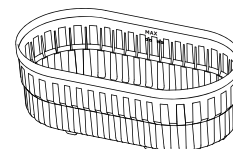
- 表面硬度が比較的柔らかいモース硬度8以下のエメラルド(7.5)、水晶(7)、オパール(5.5)、珊瑚(3.5)、真珠(3.5)、ベッコウ(2.7)、象牙(2.5)などは、欠けたり、変色したり、光沢が失われることがあります。
※（ ）内はモース硬度。
- 真珠、宝石、珊瑚、ベッコウ、象牙などを接着や張り合わせ加工したもの（はがれたり、変色したり、光沢が失われることがあります。）
- ヒビやキズの入った宝石類（ヒビやキズが大きくなることがあります。）
- 洗浄できるものはブローチ、指輪、イヤリング、プレスレット等です。
※ 宝石類のついているものは、長時間洗浄しないでください。（4ページ）
※ 銀製品の黒ずみは落ちません。



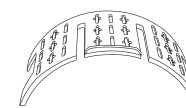
ご使用のまえに



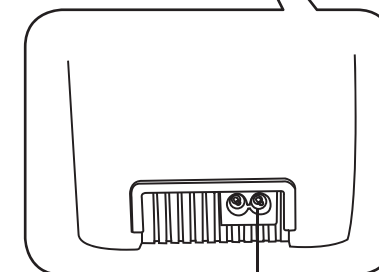
電源プラグ



洗浄カゴ



時計ホルダー



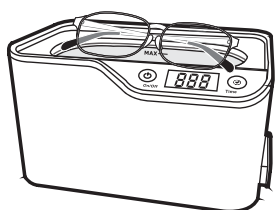
コネクター

洗浄をはじめる前に、必ず『洗浄できるもの・洗浄できないもの』(4ページ)を充分に確認してご使用ください。



注意 本製品は、家庭用ですので、頻繁にお使いになる業務用にはご使用にならないでください。

1 洗浄するものを、静かに洗浄槽に入れます

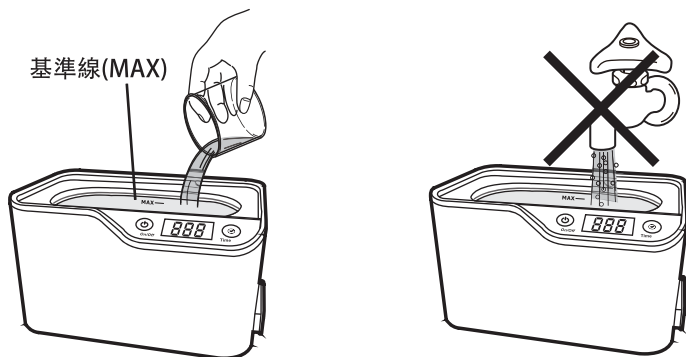


※時計の金属バンドを洗浄するときは時計ホルダーを使用します。(10ページ)

※アクセサリーなどの小物を洗浄するときは付属の洗浄カゴに入れて洗浄しますと、出し入れに便利です。(12ページ)

2 必ず水をコップ等を使用して、洗浄槽の上限(MAX)基準線を超えないように入れます

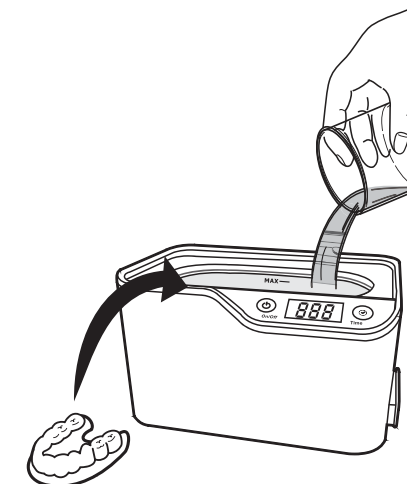
※水があふれ出ると感電や火災、故障の原因になります。
※内容物により水量を加減して、下限(MIN)基準線より多くいれてください。
※発火性、引火性のある液体や消毒薬や滅菌薬など薬品は使用しないでください。



※水道蛇口より直接洗浄槽に水を入れしないでください。本体に水がかかると感電や火災、故障の原因になります。

1 洗浄槽で洗う

- 洗浄槽に入れ歯を上向きに入れてください。
- 振動子が左右に分かれておりますので、上歯と下歯を左右に分けて洗浄すると効果的です。
- 水を入れる時はコップ等を使用して洗浄槽の上限(MAX)基準線まで入れてください。
- 入れ歯全体に水がかぶるようにしてください。
- めるま湯(40℃以下)が効果的です。
- 頑固な汚れはあらかじめ下洗いしてください。



市販の入れ歯用発泡性洗浄剤の併用は洗浄効果が低下する場合があります。

2 器具用プラグと電源プラグを差し込みます

TIMER

3 をタッチして洗浄時間を設定します

- 1分(60秒)~2分(120秒)をめやすに設定してください。(4ページ)
- 汚れが落ちにくい場合は2、3回洗浄を繰り返してください。

ON/OFF

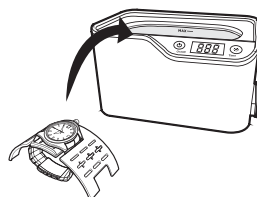
4 をタッチして洗浄を開始します

- 途中で洗浄を止める時は、再度  をタッチしてください。

5 洗浄が終わったら、入れ歯を水ですすぎ洗いをしてください。

1 洗浄槽で洗う

- 時計を時計ホルダーにセットしてください。
- ※ 金属バンドが厚くて時計ホルダーにセットできない場合は、時計本体をつかんで、金属バンドのみ洗浄槽の水につけて洗浄してください。
- 水を入れる時はコップ等を使用して水が時計ホルダーの頂上を超えないようにゆっくりと入れてください。
(この時、時計本体を絶対水につけないようご注意ください。)
- ご家庭でご使用の中性洗剤を1~2滴入れるとより効果的です。
※ガンコな汚れを落とすには専用洗浄液(WL100 ミクロジック)による洗浄をお勧めします。(17ページ)



2 器具用プラグと電源プラグを差し込みます

TIMER

3 時計のアイコンをタッチして洗浄時間を設定します

- 3分(180秒)~5分(300秒)をめやすに設定してください。(4ページ)

ON/OFF

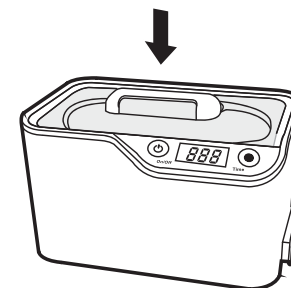
4 電源のアイコンをタッチして洗浄を開始します

- 途中で洗浄を止める時は、再度電源のアイコンをタッチしてください。

5 洗浄が終わったら、時計バンドのみ水ですすぎ洗いをしてください。

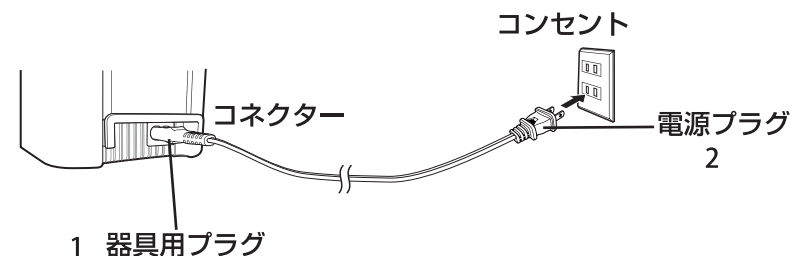
- 乾いた布等で水分をよくふき取ってください。

3 フタを閉めます

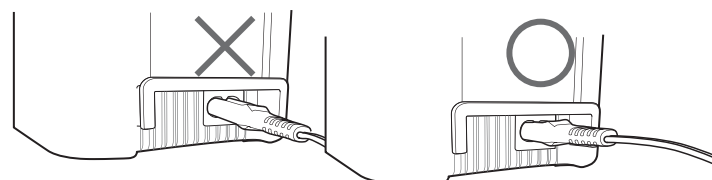


4 ①器具用プラグを本体のコネクターに差し込みます

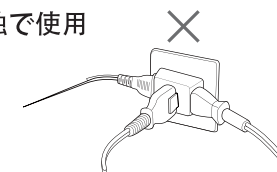
②電源プラグをコンセントに差し込みます




※器具用プラグは本体をしっかり手で押さえて、奥までしっかりと差し込んでください。奥まで差し込まないと電源が入りません。




※電源プラグは交流100Vコンセントに単独で使用して、タコ足配線はしないでください。



- 6** **TIMER**  を指でタッチして（触れて）、洗浄時間を設定します（その都度設定が必要です。）



- TIMER**  をタッチする度に、設定時間が切替ります。
90秒 → 180秒 → 300秒 → 480秒 → 600秒

- 7** **ON/OFF**  をタッチして、洗浄を開始します

タイマーのカウントダウンが始まり、設定した時間の洗浄が終了すると自動的に止まります。

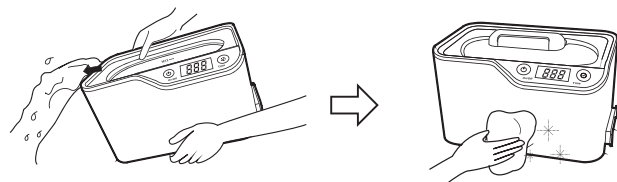
※洗浄を途中で止める場合は、**ON/OFF**  をタッチしてください。

※動作中に「ジー」と音がしますが、これは超音波の振動音で故障ではありません。

- 8** 洗浄したものを取り出して、水ですすぎ洗いをしてください

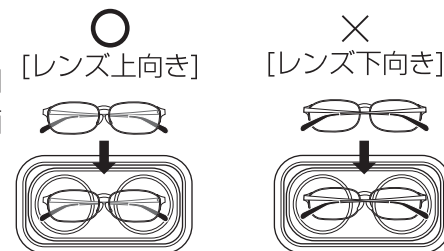
- 9** 電源プラグと器具用プラグを抜いてください

- 10** 洗浄槽の水をすて、水ですすぎ洗いをした後、布などで水気をふき取ってください



- 1** 洗浄槽で洗う

- メガネのレンズが洗浄槽の底や側面に直接ふれないようにレンズ面を上向きに入れてください。
- 水を入れる時はコップ等を使用して洗浄槽の上限(MAX)基準線まで入れてください。
- ご家庭でご使用の中性洗剤を1～2滴入れるとより効果的です。



- 2** 器具用プラグと電源プラグを差し込みます

- 3** **TIMER**  をタッチして洗浄時間を設定します

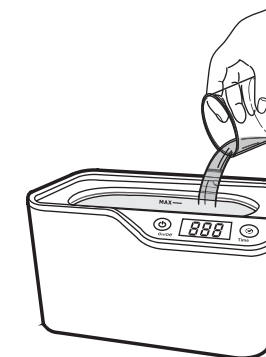
- ふち無しレンズメガネは30秒をめやすに取り出してください。（4ページ）

- 4** **ON/OFF**  をタッチして洗浄を開始します

- 途中で洗浄を止める時は、再度 **ON/OFF**  をタッチしてください。

- 5** 洗浄が終わったら、メガネを水ですすぎ洗いをしてください。

- 乾いた布等で水分をよくふき取ってください。



注意

- プラスチック製レンズ付きメガネの洗浄は要注意!!
プラスチック製のメガネレンズの場合、購入から時間の経過によりヒビ、キズなどが入っていると洗浄後レンズが白くくもり、布で拭いても元にもどらないことがありますのでご注意ください。
- ふち無しのガラスレンズのメガネを長時間洗浄しないでください。
- ご使用状況により傷ついたメガネレンズのコーティングが、洗浄によりはがれる場合があります。長らくご使用になっているメガネを洗浄する場合は、短時間洗浄して、レンズの状態を確認してからご使用ください。
- プラスチック製のメガネフレームを洗浄すると、白くなったり、つやがなくなったりする場合があります。これらは、整髪料の付着や髪の毛などによるこすれ傷が洗浄によって表れたためです。このような場合は、お近くのメガネ専門店へご相談ください。
- 宝石の飾りがあるメガネ、ベツ甲製のメガネフレームは洗浄できません。
- メガネを洗浄する場合は必ず水をご使用ください。
- 劣化の進んだ（キズやはがれなどがある）メッキ及び塗装のしてあるメガネフレーム類は洗浄しないでください。
- 超音波の振動により、メガネのネジや耳あて（モダン）部分がゆるむことがあります。再度ネジをしめつけ、耳あてをツル（テンブル）に差し込んでからお使いください。

※万一上記のような不具合が発生しても、その責は負いかねます。